

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は2024年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項・競技注意事項による。ただし、スタートの不適切行為で、2度のイエローカードの提示を受けた競技者については、当該種目のみ失格とし、それ以後のすべての種目から除外しない。なお、「参加の拒否」(TR4.4)は適用しない。
- 2 ウォームアップ場は、サブグラウンドとサブグラウンド脇のアスファルトとする。投てき練習場はサブグラウンドに設ける。定められた場所で係員の指示に従うこと。
- 3 競技者は規定のアスリートビブスをユニフォームの背と胸につける。ただし、棒高跳、走高跳、走幅跳の競技者は背又は胸の片側だけでよい。
トラック競技出場者は腰ナンバー標識を右腰につける。1500m以上の競技は主催者側で用意する。
- 4 競技場は全て全天候型のため、9mm以下のスパイクを使用する。ただし走高跳は12mm以下のスパイクを使用する。シューズ規則(フィールド競技TR5.2適用除外)が適用され、トラック種目においてシューズの厚さを計測する場合がある。
- 5 招集点呼は次のように行う。
 - (1) 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、最終点呼を受ける。その際、役員にアスリートビブスとスパイク競技場内への持ち込み物品の確認を受けたのち、役員の誘導に従って入場する。
 - (2) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ、その旨を本人又は代理人が当該競技の招集完了時刻前に役員に申し出ること。
 - (3) 招集時刻については、その開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック	予 選		準 決 勝		決 勝		
	100m ・ 200m 400m ・ 800m 1500m ・ 3000m ハードル ・ リレー		100m ・ 200m ハードル		100m ・ 200m 400m ・ 800m 1500m ・ 3000m ハードル ・ リレー		
	開 始	完 了	開 始	完 了	開 始	完 了	
	25分前	15分前	25分前	15分前	25分前	15分前	
	予選			決勝			
フィールド	走幅跳・砲丸投			走高跳・走幅跳・砲丸投		棒高跳	
	開 始	完 了		開 始	完 了	開 始	完 了
	50分前	40分前		40分前	30分前	70分前	60分前
	トラック競技				25分前	15分前	
四種競技	フィールド競技				30分前	20分前	
	第2種目以降についても招集所で競技者係から点呼を受ける。						

(4) 招集点呼に遅れたものは競技に出られない。

- 6 トラック競技の組み合わせと走路順、フィールド競技の試技順について
 - (1) トラック競技の予選ならびにフィールド競技の全種目については、左側の数字で示す。
 - (2) 準決勝・決勝の場合は総務が抽選して決定し、掲示する。

7 競技方法について

- (1) 100m・200m・ハードルは準決勝を行う。
- (2) リレー競技を除くトラック競技では次のラウンド進出のためにプラスアルファ方式を採用する。同記録があり、レーン数が不足するときは写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは抽選とする。ただし、同組の場合は着順優先とする。次のラウンド進出のためにプラスアルファ方式を採用する。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げかたは次の通りとする。ただし状況により変更することもある。

《走高跳》	男子	(練習 155)	160・165・170・175・180・185	以後 3cm きざみ
	女子	(練習 130)	135・140・145・150・155・160	以後 3cm きざみ
《四種走高跳》	男子	(練習 135・150)	138・141	以後 3cm きざみ
	女子	(練習 118・133)	121・124	以後 3cm きざみ

*練習の高さは希望による。
*人数を均等に分けた2グループで行う。

《棒高跳》	男子	(練習 230・350・400)	240・250	以後 10cm きざみ
	女子	(練習 160・210・260)	170・180	以降 10cm きざみ
- (4) 走幅跳・砲丸投の予選通過標準記録は次のとおりとする。なお、状況によって当該審判長の判断により変更することがある。

《走幅跳》	男子	6 m 5 5	女子	5 m 4 5
《砲丸投》	男子	1 3 m 0 0	女子	1 2 m 5 0

予選通過標準記録を越えた者が 12 名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第 TR25.22 を適応する。
- (5) ジャンプオフ（第1位決定戦）のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- (6) フィールド競技の走幅跳、砲丸投は次の通り計測ラインを設定する（四種競技は除く）。状況により変更することがある。なお、計測記録に達しない場合でも、有効試技の1回目は計測する。

《走幅跳》	男子	5 m 3 0	女子	4 m 2 0
《砲丸投》	男子	9 m 0 0	女子	8 m 5 0
- (7) 800mはセパレートスタートとし、ブレイクライン通過後はオープンとなる。
- (8) リレーのオーダー用紙は各ラウンドとも第1組目の招集完了1時間前までにT I Cへ1部提出する。（オーダー用紙は予選：学校受付時に渡す。決勝についてはT I Cに置く。）
- (9) 棒高跳の競技者は支柱の移動について、試技前に係員に申し出ること。
- (10) 競技用具は会場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用する。

8 表彰について

各種目1位に優勝杯（持ち回り）とメダル、8位までの入賞者に賞状を授与する。トラック競技及びフィールド競技の入賞者は競技終了後、直ちに役員の手配に従い、表彰選手控え所に移動すること。

9 マナー等について

- (1) 競技場内には該当競技の競技者および役員以外は立ち入りを禁止する。
- (2) リレーを除くトラック競技のスタート前の更衣については次のように行う。
 - ・袋（かご）に入れる → 生徒役員がフィニッシュまで運ぶ → フィニッシュ付近で受け取る